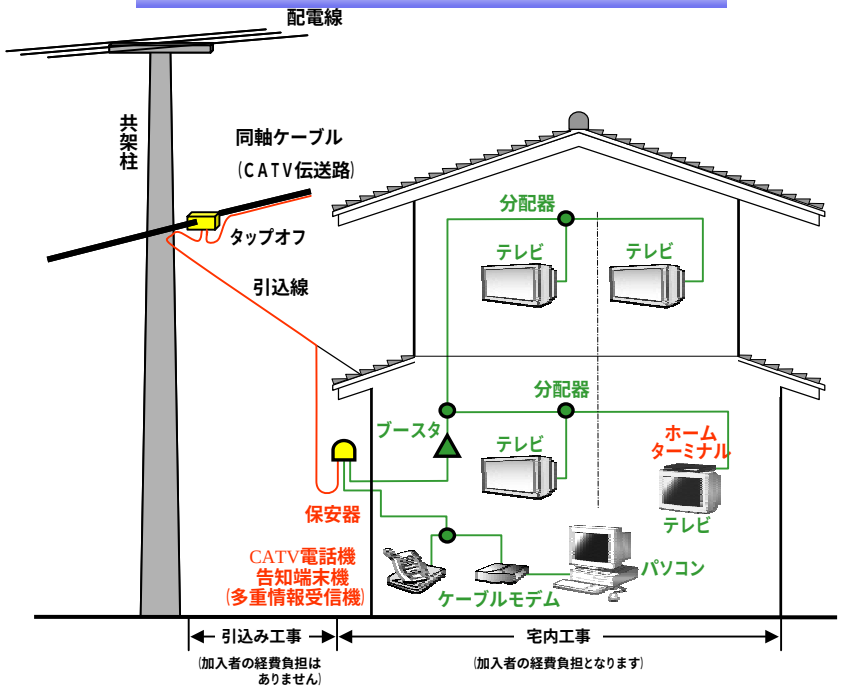
宅内配線工事　ご参考資料　(1)

宅内配線イメージ図



2．保安器

3．ホームターミナル

4．電話機+告知端末機
(多重情報受信機)

5．ケーブルモデム

6．分配器
(2分配、4分配)

7．ブースター

● 赤色の部分は町負担
● 緑色の部分は場合によっては必要となります (加入者負担)

用語の説明

1．タップオフ　：情報センターからCATVネットワークに送られたテレビ信号や各種情報の信号を各加入者宅に分岐、分配し、引き込むための機器です。

2．保安器　：CATV施設と加入者宅の接続点 (引き込み口) に設置して、誘導雷等による サージ電圧 (強電圧) が家庭内に侵入し、家庭電器製品等に悪影響を及ぼす 事を防ぐための機器です。

3．ホームターミナル (STB)　：加入者宅に送られてきた多チャンネルのテレビ信号から、それぞれの加入者 ごとの契約チャンネルだけを選局し、テレビで視聴出来るように変換するため の機器です。多重情報選択端末装置とも言います。【※】

4．告知端末機 (多重情報受信機)　：CATVネットワークに接続し緊急放送/告知放送サービスや加入者間の通信 サービス (CATV電話、FAX) 等を可能とするための機器です。【※】

場合によっては下記の機器が必要になることがあります。

5．ケーブルモデム　：CATVネットワークを通じてインターネットに接続するために、宅内のパーソナ ルコンピューターと接続し、情報センターとの情報のやり取りをするための双 方向の通信機器です。【※】

6．分配器　：加入者宅内に送られてきた信号を、宅内の各部屋に設置してある設備に分 配するための機器です。2分配器、4分配器等が有ります。

7．ブースタ　：保安器以降に設置して、加入者宅に送られて来る間に弱くなった信号を、宅 内の各種機器に必要な信号の強さまで、再度強くする機器です。宅内増幅器 ともいいます。【※】

ただし、上記 [※] の機器は、電源AC100Vが必要です。

メモ

宅内配線工事　ご参考資料　(2)

(1) 宅内用同軸ケーブルは、5C－FB相当の同軸ケーブルを使用し、老朽化したケーブルやフィーダ線は使用しないでください。

(2) 新築の宅内テレビ用配線は、各テレビ間でのレベル(信号)格差を極力少なくするために、できるだけ直列ユニット工法は避け、分配工法としてください。

　また、宅内用分配器は、すべてF型接栓で 板金もしくはｱﾙﾐﾊｳｼﾞﾝｸﾞであるものを取り付けてください。

(3) 宅内配線は、原則として、保安器(2分配器内蔵)からテレビ用ケーブルと通信用ケーブルの2系統に分けて配線し、テレビ用ケーブルは各テレビ、ホームターミナル等へ、通信用ケーブルは告知放送受信機、パソコン等への分配工法による配線をしてください。

(4) 4分配以上、または宅内ケーブルの配線が長い加入者宅においては、ブースタ(増幅器)が必要です。ケーブルテレビ対応の770MHz仕様の増幅器を使用してください。宅内の配線系統で通信用系統の場合(告知放送受信機、パソコン等へ)は双方向仕様のものが必要です。

　また、取付場所については、なるべく保安器に近い系統で、電源AC100Vが確保できる場所に取り付けてください。

(5) 屋外の保安器から宅内への同軸ケーブルの壁貫通部は、5C同軸ケーブル2本分(1本あたりの外径約10mm×2本分で約20mm)が通過できるよう穴あけ･配管施工が必要です。加入者宅の新築･増改築の際は、予め、穴あけ･配管施工をしておくことをお勧めします。

(6) ブースタ(増幅器)、分配器等のF型接栓の処理は、各メーカ取扱説明書の記載のとおりの施工を行ってください。